

令和4年度までに実施した取組内容

ハッチ:令和4年度に実施した取組又は実施予定となった取組 ■ハッチ:令和5年度以降実施 □ハッチ:過年度実施済 ○ハッチ:対象なし

Table with columns: 項目, 対象地域, 課題番号, 宇都宮市, 足利市, 栃木市, 佐野市, 鹿沼市, 日光市, 小山市, 真岡市, 大田原市. Rows include: 1)ハード対策の主な取組 (河川対策, 土砂災害防止対策, 危険管理型ハード対策, 避難行動, 雨水流出抑制施設), 2)ソフト対策の主な取組 (緊急輸送道路, アンダーパス, ハザードマップ).

令和4年度までに実施した取組内容

ハッチ:令和4年度に実施した取組又は実施予定となった取組 ■ハッチ:令和5年度以降実施 □ハッチ:過年度実施済 ○ハッチ:対象なし

Table with 10 columns: 項目, 対象地域, 課題番号, 宇都宮市, 足利市, 栃木市, 佐野市, 日光市, 小山市, 真岡市, 大田原市. Rows include disaster prevention planning, evacuation routes, disaster education, and disaster response systems.

取組内容については、詳細見直し(追加等)を行う。

令和4年度までに実施した取組内容

■：追加する取組、■：確認を要する取組(取組有無について確認)、■：削除する取組

Table with columns for Item, Item No., City, Prefecture, and various implementation details across different municipalities like 久米市, 那須佐原市, etc.

※取組内容については、詳細見直し(追加等)を行う。

令和4年度までに実施した取組内容

■：追加する取組、■：確認を要する取組(取組有無について確認)、■：削除する取組

項目	課題番号	芳賀町	壬生町	野木町	塩谷町	高橋沢町	那須町	那珂川町	宇都宮気象台	栃木県
対象流域		鬼	利	利	見・久	鬼	久	久	委流域	委流域
1)ハード対策の主な取組										
■ 洪水を河川内で安全に流す対策										
・河川拡張、護岸整備(河岸浸食対策)等	K	特になし	・普通河川は河川において護岸整備を実施予定。【令和3年度〜】	特になし	・確認している。	・必要に応じて確認している。	・今後確認している。	特になし		・河川整備計画に基づき河川改修を実施した。(全流域)
・再度災害防止対策(改良復旧、堆積土除去等)	K	特になし	特になし	特になし	・確認している。	・必要に応じて確認している。	・今後確認している。	特になし		・改良復旧、堤防強化、堆積土除去を実施した。(全流域)
・洪水対策検討会を開催し、抜本的な洪水対策を協議・実施	K									・田川に巴波川で洪水対策検討会を開催し、関係機関と洪水対策について協議・検討した。【令和3年度〜令和4年度】 ・田川に巴波川において洪水対策工事に着手した。【令和4年度】
■ 土砂災害防止対策										
・砂防堰堤、急傾斜地崩壊対策施設の設置等	L									・災害防止を目的とした河川砂防堰堤に基づき土砂災害防止施設の整備を実施した。(全流域)
■ 危機管理型ハード対策										
・堤防強化(堤防天端の保護、巻堤、堤防護岸等)	K									堤防強化対策を実施した。(全流域)
■ 避難行動、水防活動に資する基盤等の整備										
・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備	B,D,F	・実施済み。	・壬生町防災Web上で町内三河川の雨量、水位データを観測している。	特になし	・確認している。	・必要に応じて確認している。	・今後確認している。	特になし		・雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の整備を実施した。【令和2年度】(全流域) ・引き続き雨量・水位等の観測データ及び洪水時の状況を把握・伝達するための基盤の見直し等を検討する。【令和4年度〜】 ・警報・注意報基準の見直し等、防災気象情報の精度向上に資するため、住民に対して的確に警報を伝えるための防災警報等の改良を実施中。【令和3年度〜】 ・継続的洪水による大規模の半日程度からの呼びかけ(6月1日) ・気象庁(洪水予報(遊覧型河川)の注意危険情報を予測でも発表(6月11日) ・本庁(危険度分布)「県」の新設と「予報」と「県」の統合(6月30日) ・大雨特別警報(洪水警報)の指標の改善(6月30日) 【令和4年度実施】
・防災行政無線の改良、防災ラジオの配布等の整備	D	・防災行政無線の電話応答サービスを実施。	・広報紙等で防災行政無線の電話応答サービス、防災メール等の広報をしている。	・引き続き、防災行政無線の改良を図り、入会・種別の変更を実施する。【令和3年度】	・防災行政無線の電話案内、防災メールの広報をしている。【継続実施】	・防災行政無線のデジタル化への移行が完了し、避難行動要支援者等に戸別受信機を無償貸与。【令和2年度〜】	・防災行政無線：臨時整備を進めている。【令和3年度〜】	・ゲートプロシエを利用した屋外拡音機(戸別告知機)を整備【実施済み】		
・水防活動を支えるための水防資機材等の配備(新技術活用も含め)及び適切な管理	H	・水防資機材等の適切な管理を行う。	・水防資機材等の更新の調査を継続。	・水防資機材等の配備及び管理を継続し、必要に応じて補充を行う。【継続実施】	・消防団向け水防資機材等の配備を確認している。	・水防資機材の備蓄の強化を確認している。	・毎年水防資機材の点検を行い、必要に応じて更新を行う。【継続実施】	・水防資機材備蓄の強化【令和3年度〜】		・排水ポンプ車を配備済【令和3年度】 ・配備した水防資機材の適切な管理を行った。(全流域)
・危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラ等の検討・設置	I	・今後検討	・壬生町防災Web上で町内三河川の簡易型河川監視カメラを設置している。	特になし	・確認している。	・必要に応じて確認している。	・危機管理型水位計や簡易型河川監視カメラ等の設置について、検討している。	特になし		・令和3年度までに危機管理型水位計10台を設置済。 ・令和3年度までに簡易型河川監視カメラ5台を設置済。
・洪水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	C,H	・浸水想定区域外により該当なし。	・代替庁舎の指定庁舎の確保に非常用電源設置	・自家発電装置の設置を確認している。	・庁舎棟内に、自家発電装置等の耐水化を図る。【令和3年度〜】	特になし	・自家発電装置をら設置する。洪水対策を行っている。また、代替施設の指定を行っている。【実施済み】	特になし【対応なし】		・ダム防災警報設備について、2基耐水化を実施した。
■ 河川への雨水流出抑制対策										
・雨水流出抑制施設の整備・促進	M	特になし	・調整池等について浸水想定外の除却、将来的に事業化も、整備を行う地区を拡大している。	・施設の整備について検討している。	・庁舎棟内に、自家発電装置等の耐水化を図る。【令和3年度〜】	・必要に応じて確認している。	・調整池の整備を進めている。	特になし		・上新賀庁舎棟に地下貯留施設を設置し、雨水流出を抑制した。【令和3年度】
・田んぼダムの普及・促進	M	・現状把握から検討を進める。	・土地改良区等関係者と連携し、田んぼダムの普及・促進に積極的な取組む。	・多岐の補助金交付金により活動組織において実施。【令和3年度〜】	・確認している。	・実施計画・年度未定	・今後確認している。	特になし		
■ 災害に強い交通ネットワークの構築										
・緊急輸送道路の整備	C,N									・防災拠点に基づく復旧緊急時の対策や被災者避難支援計画に基づく無電化を推進し、緊急輸送道路の機能強化を図るとともに、すれ違いが困難な交差点等についてはその解消に向け、整備を実施した。
・道路アンダーパス跡における冠水対策	C,O									・令和3年度までに、アンダーパス1箇所をエアードリッジを設置済。 ・令和4年度は、ポンプ更新も進捗あり、ポンプ設備の地上化に向けて2箇所の設計を実施した。
2)ソフト対策の主な取組										
①逃げ遅れ等に備えた迅速かつ的確な避難行動のための取組										
■ 避難経路を考慮したハザードマップの作成・周知等										
・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図等の作成や応急シミュレーションの公表	A									・全ての洪水予報河川、水位監視河川について、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表した。【令和3年度】 ・洪水予報河川、水位監視河川以外の小河川においても、想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図を公表する。【令和4年度〜】 ・洪水浸水想定区域図を分かりやすく表示、公表した。【令和3年度〜】 ・市町に対し、浸水ナビの機能周知及び活用事例を共有する。【継続実施】
・水位周知河川等の拡大検討	I									・水位周知河川に新たに3河川指定済。(鬼・見・久)【令和3年度】
・洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域等を考慮したハザードマップの作成・周知	A	・洪水ハザードマップの実施。【令和4年度】	・洪水ハザードマップを作成している。	・新たな防災ハザードマップを作成し、全戸に配布した。【令和3年度】	・令和3年度、防災ハザードマップを作成。 ・濃野川河川について浸水想定がなれることから、改訂している。【令和3年度〜】	・ハザードマップを改訂し、全戸に配布【令和3年度〜】	・作成済	・RS.3ハザードマップ設計。【令和4年度】		
・地域の特性を踏まえた適切な避難方法(避難経路等)の検討・周知(避難経路を踏まえた適切な避難方法(避難経路等)の検討・周知を含む)	C	・ハザードマップの更新の中で対応。【令和4年度】	・令和3年度中に地域防災計画・ハザードマップの見直し	・地域の特性を踏まえた適切な避難方法(避難経路等)について検討した。新たな防災ハザードマップを作成し、全戸に配布した。【令和3年度】	・地域の特性等を再度見直し、検討の上、またまことにハザードマップの作成について検討している。	・適切な避難方法の周知、またまことにハザードマップの実施を確認している。【検討中】	・またまことにハザードマップの実施を確認している。	・またまことにハザードマップの実施を確認している。		
■ 防災情報の発信及び情報伝達方法の確立										
・水位予報の精度向上検討	B									・洪水予報河川について、精度向上を図るため、令和3年度日本気象協会の補助による予報水位の検証を実施済。(全流域)【令和3年度】
・土砂災害警戒基準値等の見直し	A									・国土交通省の調査結果に基づき、精度向上を図るための警戒基準の見直しを行った。(全流域)
・ブッシュ型の洪水予報等の情報発信	F									・キエム(危険度分布)通知サービスの提供。【継続実施】 【令和3年度〜】
・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供	F	・実施済み。	・壬生町防災Web上で、水位計及び河川ライブカメラの情報をリアルタイムで提供している。	特になし	・確認している。	・必要に応じて確認している。	・令和3年度、ライブカメラの情報を提供している。	特になし		・水位計やライブカメラの情報をリアルタイムで提供した。(全流域)
・対象地区全体に届く情報伝達方法の確立(自治体未加入世帯、高齢者、外国人等)	D,F	・防災行政無線のほか登録制メールやウェブテレビ等で情報伝達。	・防災行政無線システムの導入 ・移動無線機の確保	・防災行政無線、登録制メール、各種SNS(Live, Twitter, Facebook)等の情報伝達手段を確保済み。 ・確認して、対象地区全体への確実な情報伝達方法を確立している。【令和3年度〜】	・複数の情報伝達手段を確保。 ・防災メール、スマートフォンアプリの加入促進、戸別受信機の普及を図る。【継続実施】	・防災行政無線メールの加入促進【令和3年度〜】	・多様な手段により、情報伝達を行っている。(防災行政無線、町中、登録制メール、緊急通報メール、Facebook、広報車、民生委員等による戸別受け等)【令和3年度〜】	・複数の情報伝達手段を確保【実施済み】		

令和4年度までに実施した取組内容

■：追加する取組、■：確認を要する取組(取組有無について確認)、■：削除する取組

Table with columns: 対象領域, 課題番号, 芳賀町, 壬生町, 野木町, 塩谷町, 高橋沢町, 那須町, 那須川町, 宇都宮気象台, 栃木県. Rows include disaster prevention planning, disaster response, and disaster recovery. Each row contains specific measures and their implementation status across the municipalities.

取組内容については、随時見直し(追加等)を行う。